

技術 教科の目標
 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。
 (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
 (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

技術 第3学年の目標
 (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
 (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
 (3) よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

※【知】は「知識・技能」、【思】は「思考・判断・表現」、【態】は「主体的に学習に取り組む態度」

月	単元名	学習内容	評価規準	評価資料
4	情報に関する技術 情報モラルと知的財産	1)情報とわたしたちの生活 2)コンピュータと情報処理 3)情報通信ネットワーク 4)情報モラルと知的財産 5)アプリケーションソフトウェアの利用	【知】 ・著作権や、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と、発信者としての責任についての知識を身に付けている。	【知】 A、B
			【思】 ・情報社会における課題や問題について指摘し、どのような心構えが必要か考え、述べることができる。	【思】 A、B
			【態】 ・日々の生活との関わりの中から、生かしていくべきことを見だし、生かしていこうとしている。	【態】 A、B、C
4 ～ 11	情報に関する技術 プログラムによる計測・制御	1)生活の中にある制御 2)計測・制御システム 3)処理の手順とプログラム 4)プログラムによる制御 5)初歩の電子掲示板プログラムの作成	【知】 ・計測・制御システムにおける構成やその中でのプログラムによる情報の処理についての知識を身に付けている。 ・フローチャート（流れ図）について理解している。 ・設計に基づき、簡単な計測・制御のプログラムを作成できる	【知】 A、B
			【思】 ・計測・制御の目的や条件を明確にし、情報処理の手順を変更した場合の効果を比較・検討したうえで、計測・制御に適した情報処理の手順を決定している。	【思】 A、B
			【態】 ・新しい発想を生み出し活用している。 ・利用者の立場に立ってプログラムを作成しようとしている。	【態】 A、B、C
12 ～ 3	情報に関する技術 情報通信ネットワークの活用	1)利用するときのモラル 2)発信するときのモラル 3)人権や個人情報の保護 4)知的財産の保護 ・課題制作 1)テーマと構造の設計 2)素材の準備 3)素材の統合 4)評価修正	【知】 ・著作権や情報モラルについて理解している ・適切なソフトウェアを用いて多様なメディアを複合し、表現や発信ができる。 ・問題点を見つけ、より適切な表現に修正することができる。 ・基本操作、図の挿入などの設定ができる。	【知】 A、B
			【思】 ・デジタル作品の使用目的を明確にし、適切なソフトウェアを選択した上でソフトウェアの機能を活用している。	【思】 A、B
			【態】 ・目的に応じてソフトウェアの機能を工夫し、より良い作品を制作しようとしている	【態】 A、B、C